

今回は、今年で4回目となったサマーキャンプ、2・3年生のプロジェクト学習の取り組み状況を中心にお伝えします。

サマーキャンプ

2019年6月24日(月)から7月5日(金)までの2週間、「兵庫大学サマーキャンプ」を開催しました。今年は、韓国、タイ、ドイツから14名の留学生が参加し、日本語や日本文化に関する授業のほか、稲美町でのフィールドワーク、日本発祥のカローリング体験、現ビズ学生とのワークショップなどさまざまなプログラムに取り組みました。

《オリエンテーション》

現代ビジネス学科3年生がホストを務めました。アイスブレイキングでは、各国に分かれて母国や母校の紹介を模造紙に作成して発表しました。チーム内での作業中には、母国語での会話となり、ボランティア学生が戸惑うシーンもありましたが、参加者を相互に知るよい機会となりました。

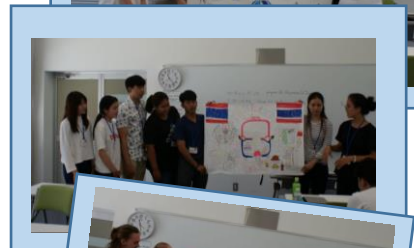
《現ビズ学生との交流プログラム》

6月26日(水)には東播磨カローリング研究会会員の皆様にご協力いただき、カローリングを体験しました。6月28日(金)2時限には、4年生の学生がサマーキャンプのクラスに参加し、各国の就活事情について意見交換しました。日本では当たり前のように行っている就活は、留学生にとっては驚きの内容だったようで現ビズ学生にも世界を知る良い学びの場となりました。3・4時限はEnglish Workshopに参加する1年生8名が加わり、けん玉競技や、日本語の勉強を兼ねたすごろくゲームなどで交流しました。

7月1日(月)には稲美町の魅力を発見するフィールドワーク、3日(水)は神戸市の「阪神淡路大震災記念 人と防災未来センター」を見学、翌4日(木)の見学報告会を開催しました。

《フェアウェルパーティ》

7月4日(木)夕方には、留学生の帰国の都合により1日早くホストファミリーもお迎えしてフェアウェルパーティを開催しました。現ビズ学生や教職員も参加し、楽しいひとときを過ごしました。恒例の各国からの出し物も好評でした。最後に留学生全員に修了証を授与しました。



就活事情について意見交換



留学生の指導により
ダンスに挑戦!



プロジェクト実践「加古川市観光マップ制作プロジェクト」

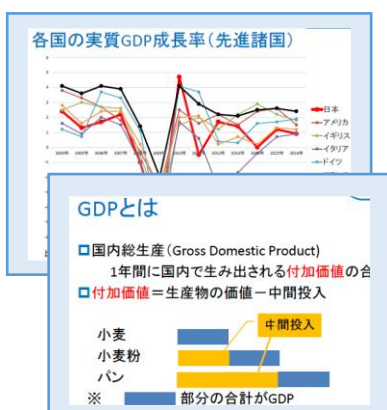
今年度のプロジェクトの1つとして、学生目線で加古川市の魅力を発信するプロジェクトに取り組んでいます。東播磨は神戸市と姫路市の間にあり、同じ兵庫県でも知名度が高くありませんが、おいしい食べ物や観光客から興味をもってもらえるスポットもたくさんあります。そこで、兵庫大学のある加古川市内の施設や店舗などの情報を学生が集め SNS を使って発信し、同時にネット上のマップに表示する取り組みを始めました。7月5日（金）には、このプロジェクトの発表会を開催し、2年生と3年生の学生3名がこれまでの取り組みと試作したマップの特長について説明しました。発表会には加古川市役所職員の方も出席していただき、貴重なコメントもいただきました。加古川市の魅力発信ツールとして育てていくよう、これからの取り組みに期待します。なお、このプロジェクトについては、「神戸新聞（東播版）」（2019年7月6日（土）朝刊）でも紹介していただきました。



授業紹介①: マクロ経済 I



アクセスしてみたいね

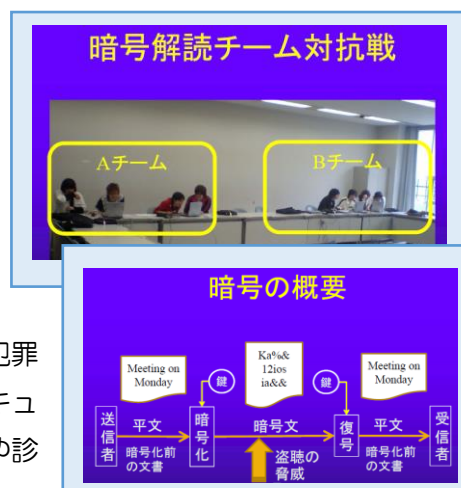


「マクロ経済 I」は地域ビジネス専攻・公共政策専攻の2年次必修科目で、現ビズのほとんどの学生が履修し学んでいます。授業では、1年次必修科目「経済学入門」を発展させ、マクロ経済学の基本概念（GDPの定義、物価指数など）と基本的なモデルを学ぶことで、財政政策や金融政策などマクロ経済政策を評価するための考え方を身につけます。アベノミクスの景気対策は、日々のニュースでもよく取り上げられますが、複雑な経済の動きやニュースを深読みできる力をつける第一歩となっています。

授業紹介②: 情報セキュリティ

多くの人々がスマートフォンやパソコンをもち、インターネットによってさまざまなサービスを利用できる今日、情報技術の持つ可能性と課題を知ることは重要です。現代ビジネス学科では、「キャリア基盤科目」群において情報関連科目を段階的に学べるカリキュラムを編成しています。

3年次の「情報セキュリティ」では、個人情報流出問題やネット犯罪の危険性について理解を深め、適切な対応ができるように、情報セキュリティの考え方、ウィルスや暗号などの基本技術、システムの監査や診断の重要性と課題について学びます。



Facebook ページ「兵庫大学現代ビジネス学部」にて、現ビズ最新情報を随時発信しています。是非ご覧ください。